

週替わりで一息！

第2018回例会（第29版）

今回の二十四節気・七十二候（にじゅうしせつきしちじゅうにこう）

立春（りっしゅん）「待ちわびた春の始まり。旧暦では、一年の始まりは立春からだと考えられていました。そのため、節分や八十八夜など、季節の変わり目の行事は立春を起点として定められています。梅の花が咲き始め、徐々に暖かくなり、春の兆しがところどころで見られます。

初候「二月四日～八日」**東風解凍**（はるかぜこおりをとく） 1

「**東風が厚い氷を解かし始める**」立春を迎えたものの、冬の冷たい空気が残る中、暖かい春の風が、張りつめていた氷を解かし始める頃。

菅原道真がうたった有名短歌に、「東風{こち}吹かば、匂いおこせよ、梅の花、主無しとて、春を忘るな」（春の東風が吹くようになったら、花を咲かせて香りを届けておくれ、梅の花よ。私がいなくても、春を忘れないでいておくれ。）

次候「二月九日～十三日」**黄鶯睨皖**（おうこうけんかんす） 2

「**うぐいすが山里で鳴き始める**」「ホーホケキョ」と、ウグイスが馴染みのある美しい鳴き声で、春の到来を告げる頃。その年の一番初めに聞くウグイスの声を「初音（はつね）」といいます。梅も満開となり小松菜を鶯菜と呼ぶのはこの時期に美味しい季節を迎えるから。

うめ



10年前の主なニュース（2006年2月5日～2月11日）

- ・東芝が原発計器改ざん匿名告発される。10年後には7100億円の赤字になるがブルガリアで5000億円規模の原発受注。



親睦委員長のおかげ！アトラクションスコップ三味線！ビンゴゲーム！手に手つないでつくる友の輪♪

